

平成31年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	06	01	104690	スポーツ大会・合宿誘致推進事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		6,922	8,167		1,245
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	2,000		2,000
	一般財源	6,922	6,167		-755

特定財源の内訳					
事業期間	単年度繰返	期間限定	平成31年度	~	平成31年度

部重点施策における目標
快適な利用環境を整えるとともに、大規模大会に備える

事業開始の背景・経緯

事業概要
スポーツ大会・合宿誘致推進事業 8,167千円
はなまきスポーツコンベンションビューロー負担金の支出
スポーツ大会・合宿誘致推進事業補助金の交付
スポーツ合宿支援事業補助金の交付

担当部署	18650000 生涯学習部 スポーツ振興	担当課長	鈴木 直明
------	-----------------------	------	-------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1

- スポーツ大会・合宿誘致推進事業 8,167千円
1. スポーツコンベンションビューロー負担金 2,293千円
大規模なスポーツ大会やスポーツ合宿を誘致し、交流人口の拡大、スポーツに接する機会を提供する。
【主な活動内容】
情報発信：ホームページ、フェイスブックの活用、スポーツ大会情報掲載19件
誘致活動：旅行会社訪問5社、旅行会社、大学等現地調査招待2社3名、台湾スポーツ選手誘致等2名
サイクルツアーモデル事業 参加者12名、合宿誘致及び合宿協議3回9社1団体
支援活動：スポーツ大会開催支援（宿泊、弁当の手配）3大会、合宿支援（宿泊施設、弁当業者の紹介等）7団体

コンベンション全体の支出（3,105千円）
報償費 619（旅行エージェント等来花記念品、合宿団体物産提供等）
旅費 1,005（旅行エージェント招待、首都圏誘致活動等）
需用費 762（印刷製本費、消耗品費等）
役務費 39（通信運搬費）
賃借料 468（招待者タクシー代、レンタサイクル年間借上代）
委託料 32（HP管理、誘致大会歓迎看板等）
負担金 180（体育協会事務負担）
 2. スポーツ合宿支援事業補助金 521千円
対象：県外の大学等団体が市内スポーツ施設及び宿泊施設を利用する合宿
補助額：交通費20,000円～50,000円（距離に応じる）、宿泊費500円（1人1泊）
上限 1団体400千円
実績：東京経済大学硬式野球部 256、東京大学運動会バスケットボール部 103、
東京大学アイススケート部 162
 3. スポーツ大会・合宿誘致推進事業補助金 4,159千円
コンベンションビューロー事務局職員人件費（2名分）、事務経費
 4. ポート日本代表合宿等歓迎 895千円
歓迎看板等 449、ポート保管用テント設置 446
 5. 大会・合宿誘致推進事業に係る職員旅費 299千円
日本ポート協会打ち合わせ等

平成31年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	06	02	104740	スポーツ施設環境整備事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		59,050	145,806		86,756
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	23,400	81,100		57,700
	その他	300	0		-300
	一般財源	35,350	64,706		29,356

特定財源の内訳					

事業期間	単年度繰返	期間限定	年度	～	年度
------	-------	------	----	---	----

部重点施策における目標
快適な利用環境を整えるとともに、大規模大会に備える

事業開始の背景・経緯
スポーツ施設の効果的な利用環境を整えるため、計画的な施設の改修、整備を図るとともに、岩手国体後（レガシー）の施設整備を行っている。また、スポーツによる交流人口の拡大や地域経済への波及効果の向上を図るため大規模スポーツ大会やスポーツ合宿の誘致を行っている。

事業概要
スポーツ施設改修・整備 145,806千円 ・施設の公認料 ・各施設の工事等設計等業務委託 ・各施設の公認更新業務委託 ・各施設の整備業務委託 ・各施設の改修工事 ・各施設の備品購入

担当部署	18650000 生涯学習部 スポーツ振興	担当課長	鈴木 直明
------	-----------------------	------	-------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細1
スポーツ施設改修・整備 12施設 145,806千円 日居城野陸上競技場 2,922千円 ・リレーゾーンの改修、備品購入を実施した。 総合体育館 5,952千円 ・第3アリーナ床塗装、備品購入（柔道畳）を実施した。 市民体育館 57,228千円 ・アリーナ床改修工事、備品購入（システムカウンター他）を実施した。 武徳殿 4,675千円 ・武徳殿の耐震診断業務を実施した。 市民プール 47,491千円 ・市民プールプールサイドの改修工事を実施した。 スポーツキャンプむら 2,970千円 ・人工芝の公認更新を実施した。 鉛温泉スキー場 17,600千円 ・第1・第2リフトの整備を実施した。 矢沢野球場 347千円 ・備品購入（音響設備）を実施した。 笹間野球場 486千円 ・高圧気中閉閉器の更新を実施した。 大迫野球場 2,717千円 ・野球場音響設備の更新を実施した。 東和B&G海洋センター 934千円 ・備品購入（カヤック他）を実施した。 太田地区社会体育館 2,484千円 ・体育館和式トイレの洋式化を実施した。

平成31年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	06	02	104750	田瀬湖ボート場環境整備事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		52,082	4,656		-47,426
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	41,700	2,400		-39,300
	その他	0	0		0
	一般財源	10,382	2,256		-8,126

特定財源の内訳

--	--	--	--	--	--

事業期間	単年度繰返	期間限定	年度	~	年度
------	-------	------	----	---	----

部重点施策における目標

快適な利用環境を整えるとともに、大規模大会に備える

事業開始の背景・経緯

スポーツ施設の効果的な利用環境を整えるため、計画的な施設の改修、整備を図るとともに、岩手国体後（レガシー）の施設整備を行っている。また、スポーツによる交流人口の拡大や地域経済への波及効果の向上を図るため大規模スポーツ大会やスポーツ合宿の誘致を行っている。

事業概要

田瀬湖ボート場環境整備事業 4,656千円

- スポーツ施設改修・整備
- ・田瀬湖ボート場 競技用備品購入（審判艇1艇等）

担当部署	18650000 生涯学習部 スポ振興	担当課長	鈴木 直明
------	---------------------	------	-------

意見・要望等の状況

日本ボート協会、岩手県ボート協会からの要望

事業手法の詳細 1

田瀬湖ボート場環境整備事業 4,656千円

- ボート競技審判艇 3,952千円
カタマランボート（4人乗り）
- 移動式スカルラック（4台） 704千円

平成31年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	06	01	104920	インターハイ開催事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		0	6,947		6,947
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	1,257		1,257
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	0	5,690		5,690

特定財源の内訳

--	--	--	--	--	--

事業期間	単年度繰返	期間限定	平成31年度	～	平成31年度
------	-------	------	--------	---	--------

部重点施策における目標

スポーツの振興

事業開始の背景・経緯

2020東京オリンピック・パラリンピックの開催に伴い、当初予定していた北関東ブロック4県での全30競技の開催が難しいため、19種目を全国各地に分散して開催することとなり、本市での今までのハンドボールの大規模大会の開催実績を買われ、開催が決定されたものである。

事業概要

実行委員会の設立
 花巻市実行委員会の設立、総会の開催、専門委員会の開催
 競技・運営体制の確立、諸準備（スタッフの確保・育成、施設整備）
 各種基本計画及び要項等の制定、役員必要数の算出、役員都合票調査の実施
 広報・市民運動
 広報PR物品の作成、各種イベントでの周知活動の実施
 先催県視察
 令和元年度北九州総体ハンドボール競技大会の視察
 スポーツ講習会の実施
 市内中高校生ハンドボール部員を対象とした、技術強化講習会を実施

担当部署	18650000 生涯学習部 スポーツ振興	担当課長	鈴木 直明
------	-----------------------	------	-------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細1

インターハイ開催事業費 6,947千円

開催準備事務 1,547千円

実行委員会負担金 負担額 5,400千円

実行委員会収支

負担額 5,400千円

決算額 4,457千円

残額 943千円（次年度へ繰越）

実行委員会の主な事業内容

1. 実行委員会の設立 【旅費】445千円（全国高体連連絡会議に係る職員旅費を含む。）
 5月に第1回総会を開催。6月・9月・12月・3月の4回にわたり、競技運営専門委員会を実施するなど、各種会議にて関係機関との連携・調整を図った。

2. 競技・運営体制の確立、諸準備【需用費、役務費等】236千円
 競技運営・式典・広報・協賛・売店出店・医療救護・輸送交通・警備防災にかかる基本計画及び要項等を制定。また、役員都合表調査を実施し、役員編成に向けた準備を進めた。

3. 広報・市民運動 【委託費】2,425千円
 広報PR物品（PR看板、のぼり、クリアファイルほか）を作成。PR物品は市内スポーツイベント等でも配布した。実行委員会HPを開設。

4. 先催県視察 【旅費】1,251千円
 8月3日～9日まで開催された令和元年度全国高等学校総合体育大会ハンドボール競技大会を視察。視察後、会場内の様子や運営状況を報告し、その後の会場レイアウト作成等に役立てた。

5. スポーツ講習会の実施 【報償費】100千円
 日本代表でのコーチ歴がある指導者を招き、市内中高校生ハンドボール部員を対象とした技術講習会を実施した。